

# 令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	17100000	健康こども 健康課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04 衛生費	01 保健衛生費
		目指す姿 政策体系に基づかないその他の事業			
中事業	01	主要な取り組み	K P I	-	目標値 -
小事業	11	健診事業			
			目標年度	令和6年度	

事業実施の背景にある課題	がん及び生活習慣病の早期発見、早期治療を図り、がんによる死亡者を減少させ、生活習慣病の重症化予防を図る必要がある。 各種検診受診率の向上のために、効果的な案内通知、受診勧奨を行う必要がある。
事業目的	(1) 対象 成人健診対象の市民 (2) 目的 健診、がん検診を受診し、生活習慣病やがん等の疾患の早期発見、早期治療・生活改善につなげる。
事業概要	成人健診にかかる申込調査、健診票の送付・結果通知などの事務を行う。
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	9,561 10,600 10,475 6,584 4,441
決算額	8,678 8,954 7,656 6,098
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	403 / 3,120

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
受診勧奨実施回数(回)	目標値				55	55
	実績値				27	

K P I(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
成人健診受診率(%) [全健診 受診者数/B票対象者数]	目標値	10	10	10.5	10.5	10.5
	実績値	8.6	9.7	9.8	9.5	

実績	成人健診対象者(実) 40,982人 (R5.4.1人口) 成人健診申込案内通知者数(実) 42,017人  成人健診対象者(延) 186,062人 健診受診者数(延) 17,706人 健診受診率(延) 9.5%  WEB申込案内者/申込者(実) 8,426人/804人 WEB案内者申込率 9.5%
効果	がん及び生活習慣病の健診について、周知及び受診勧奨し、健診(検診)受診につなげ、受診によって疾患の早期発見・早期治療につなげた。
活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	令和5年度は、令和6年度の健診の申込について、WEB申込対象者の拡大、AIOCRの利用等の準備に注力したため、新たな受診勧奨法に取り組むマニュアルが不足した。 新型コロナウイルス感染症の流行以前に実施していた健診を申し込んだが未受診の者への電話勧奨を再開し、複数人を受診につなげることができた。
K P I分析 目標値の達成 ・未達成要因	受診勧奨を従来の方法・回数でしか実施ができず、不十分であった。 未申込・未受診の理由等を把握しておらず、ターゲットを絞った効果的な受診勧奨が実施できていない。
実績からR06年度の事業の方向性	令和5年度に、岐阜県「がん検診の受診勧奨策等実行支援事業」として、職員が研修を受講し、またデータ分析ツールの提供を受けたため、それらを活用してターゲットを絞った受診勧奨を実施する。 令和5年度に再開した健診を申し込んだが未受診の者への電話勧奨を、タイムリーに原則全員に実施し、受診につなげる。

アウトプット

アウトカム

インプット

# 令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	17100000	健康こども 健康課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04 衛生費	01 保健衛生費
		目指す姿 政策体系に基づかないその他の事業			
中事業	01	主要な取り組み	K P I	-	目標値 -
小事業	19	歯科検診事業			
			目標年度	令和6年度	

事業実施の背景にある課題	歯周病は、成人期の歯の喪失の主な要因であるだけでなく、糖尿病や循環器疾患等の生活習慣病のリスク要因となるほか、妊娠婦においては低出生児出産の要因となる。また、高齢期においては、歯周病予防、口腔機能の維持向上が全身の健康維持においても重要となる。そのため、定期的な歯科健診の受診ができるよう、普及啓発が必要である。
事業目的	<p>(1) 対象 ・歯周病検診 20・25・30・35・40・45・50・55・60・65・70歳の市民 ・訪問口腔健診 要介護3以上で在宅で生活する後期高齢者医療制度被保険者</p> <p>(2) 目的 口腔保健への意識を高め、適切なケア・治療、定期的な歯科受診につなげ、医療費の削減を図る。 歯の健康を通じ全身の健康および高齢期のQOLの維持、向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周病の早期発見、早期治療と知識の普及を図る</li> <li>・口腔機能の低下及び口腔内の疾患等の予防を図る。</li> </ul>
事業概要	歯と口腔に関する健診を実施し、歯と口腔に関する疾患の早期発見、口腔保健への意識向上、適切なケア・治療、定期的な歯科受診につなげる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯周病検診：歯科医院での健診</li> <li>・訪問口腔健診：家庭訪問による健診</li> </ul>
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	4,020 2,899 2,679 2,679 10,241
決算額	2,412 2,222 2,129 1,981
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	101 / 179

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
歯周病検診受診者数(人)	目標値	720	730	740	600	2200
	実績値	528	493	461	411	

K P I(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
過去1年間に歯科健診を受けた者の割合(%) [歯周病検診問診票]	目標値	42	45	47	50	50
	実績値	46	44.1	51	51.5	

実績	歯周病検診 受診者数 411人 歯周病検診受診率(対4月1日人口) 5.41% 訪問口腔健診 受診者数 2人
効果	健診を受診することで、歯科疾患の早期治療につなげると共に、適切な口腔ケアの実施につなげ、歯周病予防、口腔機能の維持向上につなげた。また、歯周病の発症・重症化を予防することで、生活習慣病の発症・重症化、認知症の発症等全身の健康維持につながった。

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	受診者数・受診率共に、前年度より減少した。 受診勧奨が不足している。 令和6年度から従来の歯周病検診から対象年齢を拡大して市民皆歯科健診をして実施する。そのため指標及び目標値を変更する。
K P I分析 目標値の達成 ・未達成要因	地道な普及啓発により、定期的に歯科健診を受ける者が微増している。 今後も、継続した取り組みが必要である。
実績からR06年度の事業の方向性	「市民皆歯科健診」として、対象者を18~74歳に拡大して実施する。 受診勧奨を様々な方法で実施し、特にこれまで受診機会がない人、定期的に健診受診していない人を受診につなげる。

インプット

アウトプット

アウトカム

# 令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	17100000	健康こども 健康課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04 衛生費	01 保健衛生費
		目指す姿 政策体系に基づかないその他の事業			
中事業	01	主要な取り組み	K P I	-	目標値 -
小事業	20	がん検診事業			
			目標年度	令和6年度	

事業実施の背景にある課題	がんは、40～80歳代の死因の第1位である。がんを早期に発見し、がんで死亡する者を減少させるために、がん検診について正しい知識を普及させ、がん検診及び精密検査の受診率を高める必要がある。				
事業目的	(1) 対象 40歳以上の市民 (2) 目的 胃がん・肺がん・大腸がんの早期発見・早期治療により、がんによる死亡の減少、医療費の減少を図る。				
事業概要	がん検診（胃がん、肺がん、大腸がん）を実施し、がんの早期発見・早期治療につなげるものの、精密検査受診勧奨を実施し、受診率の向上を図る。 検診受診勧奨による集団検診の他、75歳以上に対しては、医療機関での個別検診を実施する。				
事業費（千円）	R02 R03 R04 R05 R06				
予算額	33,301	34,153	33,272	31,328	30,924
決算額	26,401	26,932	27,792	26,353	
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	703 / 20				

活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
受診勧奨回数(回)	目標値				10	25
	実績値				25	

K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
がん検診（胃・肺・大腸）受診率 (%) [受診者/人口]	目標値				10.5	11
	実績値				8.5	

実績	受診者数 胃がん 1,790人 大腸がん 3,761人 肺がん 2,784人
	がん検診を受診することで、がんを早期発見・早期治療につなげ、がんによる死亡者数を減少させ、医療費を削減した。

評価分析	他の健診と併せて、各種方法で受診勧奨を実施し、勧奨回数としては目標を達成した。 ・申込調査（受診勧奨）の送付 ・受診再勧奨ハガキの送付 ・集団検診申し込みだが未受診者への電話勧奨 ・広報、ホームページ、すぐメール、FMらら ・各種事業でのチラシ配布、啓発 実績に応じて、R6年度以降の目標値を見直した。
	受診勧奨はしたもの、受診にはつながっていない。 ターゲットを絞った効果的な受診勧奨を実施できなかった。

実績からR06年度の事業の方向性	令和5年度に、岐阜県「がん検診の受診勧奨策等実行支援事業」として、職員が研修を受講し、またデータ分析ツールの提供を受けたため、それらを活用してターゲットを絞った受診勧奨を実施する。
------------------	--

インプット

アウトプット

アウトカム

# 令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	17100000	健康こども 健康課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目 K P I	04 衛生費	01 保健衛生費
		目指す姿 政策体系に基づかないその他の事業		-	03 健康増進費
中事業	01	主要な取り組み	目標年度 実績	目標値 実績	- 受診者数 乳がん検診 1,367人 子宮頸がん検診 1,342人 骨粗しょう症検診 385人
小事業	21	婦人検診事業			

事業実施の背景にある課題	がんは、死因別の死亡数の第一位である。 乳がん・子宮頸がんは、女性のがんの中で罹患する人が多く、特に子宮頸がんは30～40歳代の女性で増加傾向にある。 検診を受けることで、早期発見、早期治療につなげ、がんによる死者を減少する必要がある。
事業目的	(1) 対象 20歳以上の女性 (2) 手段 乳がん・子宮頸がん・骨粗しょう症の早期発見・早期治療により、がん死亡率の減少及び骨粗しょう症の予防を図り、医療費を削減する。
事業概要	乳がん検診・子宮頸がん検診・骨粗しょう症検診を実施するもの。 検診バスによる集団検診及び医療機関での個別検診を実施する。 検診受診勧奨・精密検査受診勧奨を行い、疾患の早期発見・早期治療につなげる。
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	19,766 19,986 19,149 19,454 18,958
決算額	15,335 17,039 16,371 17,649
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	602 / 20

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
受診勧奨実施回数(回)	目標値				5	10
	実績値				25	

K P I(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
乳がん・子宮頸がん精密検査受診率(%) (前年度検診分)	目標値				100	100
	実績値				87.2	

実績	受診者数 乳がん検診 1,367人 子宮頸がん検診 1,342人 骨粗しょう症検診 385人
効果	がん検診を受診することで、がんを早期発見・早期治療につなげ、がんによる死者数を減少させ、医療費を削減した。

評価分析	他の健診と併せて、各種方法で受診勧奨を実施し、勧奨回数としては目標を達成した。
K P I分析 目標値の達成 ・未達成要因	精密検査未受診者に対しては、結果通知時のリーフレット封入等により受診の必要性を伝えること、郵送通知による受診再勧奨、電話による再勧奨を実施した。 本人と連絡がとれず受診状況が未把握となったり、受診の必要性を伝えても受診意向を示さない方等があり、要精密検査者109人のうち、7人が受診状況未把握、7人が未受診となった。 検診受診の時点で、精密検査の重要性を伝えることについて、さらに強化が必要である。
実績からR06年度の事業の方向性	令和5年度に、岐阜県「がん検診の受診勧奨策等実行支援事業」として、職員が研修を受講し、またデータ分析ツールの提供を受けたため、それらを活用してターゲットを絞った受診勧奨を実施する。

インプット

アウトプット

アウトカム

# 令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	17100000	健康こども 健康課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04 衛生費	01 保健衛生費
		目指す姿 政策体系に基づかないその他の事業			
中事業	01	主要な取り組み	KPI	-	目標値 -
小事業	24	かかりつけ医健診事業			
			目標年度	令和6年度	

インプット

事業実施の背景にある課題	結核は毎年市内で10人程度の新規登録者があり、検診を実施することで早期発見にし、感染拡大をさせないようにする必要がある。 生活習慣病は、年齢が上がるにつれて、その発症者が増加するため、若い時期から、健康状態を把握し、生活改善をすることで、発症を防ぐ必要がある。
事業目的	(1) 対象 30歳以上の市民 (2) 目的 疾患の早期発見・早期治療、生活改善につなげ、疾患の発症、重症化の予防、健康寿命の延伸、医療費の削減を図る
事業概要	医療機関において、各種健診を実施し、疾患の早期発見、早期治療、生活改善につなげるものの、 ○検診の種類 ・肝炎ウイルス検診、前立腺がん検診、結核検診、30代健診、特定健診等に準じた健診
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	11,323 10,584 9,959 8,083 8,132
決算額	8,209 6,487 5,608 5,542
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	1,213 / 100

アウトプット

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
結核検診・肝炎ウイルス検診・前立腺がん検診受診者数(人)	目標値	2250	2000	2000	1600	
	実績値	1481	1438	1441	1398	

アウトカム

KPI(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
新規結核患者登録数(人) [保健所速報値] 維持・減少	目標値	10	10	10	10	
	実績値	11	3	10	0	

評価分析

実績	受診者数 ・結核検診 508人 ・肝炎ウイルス検診 147人 ・前立腺がん検診 743人 ・30代健診 212人
効果	各種健診の実施により、感染症の拡大防止、生活習慣病の早期発見・重症化予防につながった。
活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	結核検診について、受診者数が減少しており、特に75歳以上の者に対し積極的な受診勧奨の実施が求められているが実施できていない。 R6年度以降のKPIを変更することに伴い活動指標を「受診勧奨実施回数」に変更する。
KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	新規結核患者登録数は、年度によって変動がある。 引き続き、検診の実施、受診勧奨の実施を実施していく。 当事業の成果をより測ることができるとしてR6年度以降のKPIを「結核検診受診率」に変更する。
実績からR06年度の事業の方向性	特に受診者数を増加させたい、結核検診と30歳代健診について、ターゲットを絞った効果的な受診勧奨(対象者の設定、通知媒体の工夫)を実施する。

# 令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	17100000	健康こども 健康課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目 K P I	04 衛生費	01 保健衛生費
		目指す姿 政策体系に基づかないその他の事業		-	01 保健衛生総務費
中事業	01	主要な取り組み	目標年度	令和6年度	目標値 -
小事業	25	病院群輪番制病院補助金			

事業実施の背景にある課題	休日に治療を必要とする救急患者の医療を確保するため、地域内の救急医療施設である病院に対し、救急診療業務を委託することは必要不可欠である。受け入れ困難による医療崩壊を避けるためにも、地域住民に対して第二次救急医療体制の確立強化を図る必要がある。
事業目的	(1) 対象（誰、何を対象にしていますか） 可茂地域の7病院（木沢記念病院・太田病院・可児とうのう病院・藤掛病院・東可児病院・白川病院・桃井病院）  (2) 目的（事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか） 管内の救急医療機関へ補助することで、輪番制方式で日曜日、祝日及び年末年始の昼間ににおける救急診療体制を確保し、救急医療を維持することができ、住民が安心して暮らせる環境が提供できる。
事業概要	日曜、祝日及び年末年始の昼間ににおける救急診療体制を確保するため、可茂地域の7病院に対し運営補助を行い、輪番制で第2次救急診療業務に当たってもらう。  可茂管内10市町村で、均等割及び人口割により、運営補助を行う。  美濃加茂市と可児市が3年交代で事務局を担い、事務局市が管内を取りまとめ補助金として交付する。（R2-4は美濃加茂市、R5-7年度は可児市）
事業費（千円）	R02 R03 R04 R05 R06 予算額 27,115 17,235 27,115 1,512 1,931 決算額 14,106 5,115 26,394 1,411
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	201 / 0

活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
設備整備件数(件)	目標値	1	1	1	1	1
	実績値	1	1	1	1	

K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
受け入れ患者数(人)	目標値	2100	2100	2100	2100	2100
	実績値	1100	1087	1792	1204	

実績	実績	可茂地域 6 病院 への運営補助 1 病院への設備整備補助 今年度は東可児病院に対して補助事業実施 受け入れ患者数1204人（内訳：可児とうのう病院245件、 太田病院200件、東可児病院157件、桃井病院36件、藤掛 病院511件、白川病院55件） 施設整備：東可児病院 R5から中部国際医療センターがバックアップ医療機関 となつたため7病院から6病院へ変更
効果	効果	休日救急診療の体制確立と設備強化を行うことができた。
評価分析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	診療機能の強化により、日曜、祝日及び年末年始の昼間ににおける救急医療体制の充実が図られる。 R5年度は東可児病院に「超音波画像診断装置」「診断用X線装置」を整備
評価分析	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	病院によって件数にはらつきはあるが、中部国際医療センターのバックアッ ップもあって体制確保ができている。
アウトカム	実績からR06年度 の事業の方向性	令和5年度より3年間は可児市が事務局を務めるが、引き続き日曜、祝日 及び年末年始の昼間ににおける救急診療体制を確保するため、輪番制による 二次救急診療業務に当たつてもらい、かつ必要な設備整備の補助について 、国及び県とともに実施していく。

インプット

アウトプット

アウトカム

# 令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	17100000	健康こども 健康課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04 衛生費	01 保健衛生費
		目指す姿 政策体系に基づかないその他の事業			
中事業	01	主要な取り組み	K P I	-	目標値 -
小事業	26	公的病院等補助事業			
			目標年度	令和6年度	

インプット

事業実施の背景にある課題	救急医療体制の維持・設備の充実、地域住民の健康増進及び福祉の向上を図るためにには必要不可欠となる。救急患者が増加傾向にあることから、行政として財政的支援を行わなければ、受け入れ困難となり医療崩壊に繋がりかねない。
事業目的	(1) 対象(誰、何を対象にしていますか) 市内に所在する公的病院等  (2) 目的(事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか) 救急医療体制の維持・設備の充実、地域住民の健康増進及び福祉の向上が図られる
事業概要	市内に所在する公的病院等が行う救急医療に要する経費の一部を補助し、救急医療体制の充実を図る。 関係市町村で、利用者数により補助を行う。
事業費(千円)	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	46,520 46,005 47,399 45,509 42,446
決算額	46,520 46,005 47,399 45,509
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	201 / 0

アウトプット

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
補助金交付率	目標値	100	100	100	100	100
	実績値	100	100	100	100	

アウトカム

K P I(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
受入れ救急患者数(人)	目標値	17500	17500	17500	17500	17500
	実績値	9734	12081	14797	14858	

実績

実績	救急受け入れ患者数 14,858人
効果	実績を元に適正な補助金交付を行った。

評価分析

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	受入れ救急患者数は年々増加しており、今後更に高齢者の増加や単身世帯の増加が想定されることを考えると財政的支援は引き続き必要である。
K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	受入れ救急患者数は年々増加しており、今後更に高齢者の増加や単身世帯の増加が想定されることを考えると財政的支援は引き続き必要である。
実績からR06年度の事業の方向性	救急医療体制の維持・設備の充実、地域住民の健康増進及び福祉の向上を図るべく、継続した補助を行っていく。

# 令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	17100000	健康こども 健康課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04 衛生費	01 保健衛生費
		目指す姿 政策体系に基づかないその他の事業			
中事業	01	主要な取り組み	K P I	-	目標値 -
小事業	28	休日急患診療事業（定住）			
		目標年度 令和6年度			

インプット	事業実施の背景にある課題
	（1）対象（誰、何を対象にしていますか） 休日等における急病患者
	（2）目的（事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか） 休日に救急告示病院に患者が集中することのないよう、診療所の医師に協力いただき、当番制で休日診療を行うことで、地域住民が安心して受診できるよう、診療体制を整えることができる
	事業概要 加茂医師会との連携のもと、圏域内の休日急患診療体制を強化し、日曜・祝日及び年末年始の医療体制を整える。 休日に救急告示病院に患者が集中することのないよう、一次救急として診療所の医師に協力いただき、当番制で休日診療を行う。
事業費（千円）	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	4,494 4,554 4,443 4,440 4,371
決算額	4,494 4,483 4,305 4,372
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	136 / 104

活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
周知回数(回)	目標値	60	60	60	60	60
	実績値	60	60	60	60	

K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
利用者数(人)	目標値	3350	3350	3350	2800	3300
	実績値	1107	1623	3103	2936	

評価分析	実績	受診件数2,936件（市内1,468件、坂祝162件、富加118件、川辺323件、七宗70件、八百津142件、白川18件、東白川4件、可児地域420件、その他211件） 休日開院数72回（市内56回、川辺5回、七宗3回、八百津4回、坂祝3回、富加1回）
	効果	休日に診療が増加する二次救急を担う救急告示病院への負担軽減 圏域住民に対する休日診療・休日歯科診療の機会提供（増加）による疾病への早期対応
	活動指標分析 目標値の達成・未達成要因	各市町村による毎月の広報掲載に加え、市ではホームページでの案内を実施した。紙面とWEB両面の周知啓発を実施することで、概ね診療を必要とする圏域住民には情報として行き渡っているものと推察している。 また、WEBでの周知は急な予定変更へも迅速に対応可能となった。 お盆や年末年始期間には、加茂医師会と連携し、各ホームページやスマートフォン等で周知強化を行った。
評価分析	K P I 分析 目標値の達成・未達成要因	利用者数は前年度から167件減少したが、5類になったコロナ及びインフルエンザが早い時期から流行を見せたためか、特に休日急患診療は昨年から利用者数が高止まりしている。
	実績からR06年度の事業の方向性	救急医療の負担軽減と休日における診療機会の確保のため、引き続き本事業により継続した加茂圏域の医療体制の維持が必要と考えている。 また、適切な事業運営のために、気軽な受診を控え電話相談等の活用も勧める啓発を行う必要がある。

アウトプット

アウトカム

# 令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	17100000	健康こども 健康課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04 衛生費	01 保健衛生費
		目指す姿 政策体系に基づかないその他の事業			
中事業	01	主要な取り組み	KPI	-	目標値 -
小事業	29	休日急患歯科診療事業（定住）			
		目標年度 令和6年度			

事業実施の背景にある課題	住民が安心して暮らせる環境には、充実した医療体制が必要であるが、日曜・祝日及び年末年始の日中の救急患者が救急告示病院に集中し、重症患者の受け入れが難しい状況になりつつあり、患者の救急度に応じた医療体制が圏域内で確保することが求められている。現在は、日曜・祝日及び年末年始の日中の急病に対応できる医療体制を強化し、休日に基幹病院に患者が集中することのないよう、診療所の医師に協力いただき、当番制で休日診療を行っている。医療資源が限られた中で、休日等に医療機関を利用する住民が増加している。二次救急を行う救急告示病院への負担（救急利用者の増加、医療資源の減少）が増えている。
事業目的	（1）対象（誰、何を対象にしていますか） 休日等における急病患者 （2）目的（事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか） 休日における住民の歯科救急医療体制が確保される
事業概要	休日における住民の歯科救急医療体制を確保するため、加茂歯科医師会と委託契約を行い、日曜日、祝日及び年末年始について、当番医制により診療にあたる。
事業費（千円）	R02 R03 R04 R05 R06
予算額	1,504 1,517 1,508 1,527 1,517
決算額	1,499 1,480 1,480 1,527
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	136 / 104

活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
周知回数(回)	目標値	60	60	60	60	60
	実績値	60	60	60	60	

KPI（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
利用者数(人)	目標値	230	230	230	200	200
	実績値	178	176	141	149	

実績	実績	受診件数149件 (市内103件、坂祝11件、富加5件、川辺6件、七宗1件、八百津1件、白川4件、東白川0件、可児地域9件、その他9件) 休日開院数78回（市内69回、坂祝1回、八百津2回、川辺2回、富加2回、七宗1回、白川1回）
	効果	休日に診療が増加する二次救急を担う救急告示病院への負担軽減 圏域住民に対する休日診療・休日歯科診療の機会提供（増加）による疾病への早期対応
評価分析	活動指標分析 目標値の達成・未達成要因	各市町村による毎月の広報掲載に加え、市ではホームページでの案内を実施した。紙面とWEB両面の周知啓発を実施することで、診療を必要とする圏域住民にはおおむね情報が行き渡っているものと推察している。 また、WEBでの周知は急な予定変更へも迅速に対応可能となった。 お盆や年末年始期間には、加茂医師会と連携し、各ホームページやすぐメール等で周知強化を行った。
	KPI分析 目標値の達成・未達成要因	利用者は前年度と比較してほぼ横ばいとなった。年内に治療を済ませたいという心理からか年末の連休は比較的件数が多いが、その他の休日は受診数が0件の日も多い。緊急で歯科を受診する事態になる人が少ないことと、休日受診の需要があるはずの若い世代に歯科のトラブルが少ないことが要因と思われる。
アウトカム	実績からR06年度の事業の方向性	医療の負担軽減と休日における診療機会の確保のため、引き続き本事業により継続した加茂圏域の医療体制の維持が必要と考えている。また、受診が必要なタイミングで休日歯科診療という選択を取れるよう、引き続き情報発信を行う。

インプット

アウトプット

アウトカム

# 令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計	事業主体	17100000	健康こども 健康課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	04 衛生費	01 保健衛生費
		目指す姿 政策体系に基づかないその他の事業			
中事業	01	主要な取り組み	KPI	-	目標値 -
小事業	30	24時間電話相談窓口事業(定住)			
		目標年度 令和6年度			

事業実施の背景にある課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域救急医療が、ひっ迫している。</li> <li>・感染症の流行期などにより休日急诊診療所の受診者数が増え、医療機関の負担となっている。</li> <li>・現在のところ、子ども以外は健康面等に不安がある時に、夜間・休日等に相談できる場所がない。</li> <li>・高齢化や少子化・核家族化により、健康や介護の不安を抱えている人や、身近に育児の相談ができる相手がいない人などが増えていると考えられる。</li> <li>・夜間・休日に医師不在となる地域も多く不安が大きい。</li> <li>・院内で実施しようとすると、マンパワーもスキルも不十分。</li> </ul>																		
事業目的	<p>(1) 対象 圏域住民 (2) 目的 ・夜間・休日を含め24時間365日相談できる窓口ができる、安心感につながる。 ・不要不急な救急を少しでも減らし、安定した医療体制を保持する。 ・自己判断ではなく、専門的な知識を持ったスタッフに相談できる。</p>																		
事業概要	24時間365日フリーダイヤルで電話による相談ができる。 コールセンターには、専門スタッフ(医師、保健師、助産師、看護師、ケアマネージャー等)が常駐し、健康相談、医療相談、介護相談、認知症相談、育児相談に対応する。(専門事業者への委託)																		
事業費(千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R02</th> <th>R03</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td>3,280</td> <td>5,700</td> <td>5,700</td> <td>5,735</td> <td>4,308</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>2,871</td> <td>5,678</td> <td>5,700</td> <td>5,716</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		R02	R03	R04	R05	R06	予算額	3,280	5,700	5,700	5,735	4,308	決算額	2,871	5,678	5,700	5,716	
	R02	R03	R04	R05	R06														
予算額	3,280	5,700	5,700	5,735	4,308														
決算額	2,871	5,678	5,700	5,716															
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	137 / 104																		

活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
周知、PR活動回数(回)	目標値	12	96	96	96	96
	実績値	12	96	96	96	

KPI(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
延べ利用件数(件)	目標値	400	400	400	1200	1200
	実績値	328	1064	1307	1211	

実績	<p>入札により、R6からは業務委託先がティーベック(株)から株式会社に変更。 HP等により各市町村がPRした ・相談件数1,211件(市内856件、坂祝町110件、富加町32件、川辺町127件、七宗町11件、八百津町4件、白川町6件、東白川村0件、問合せ18件、不明・その他47件) ・入電件数815回(市内554件、坂祝町71件、富加町20件、川辺町98件、七宗町8件、八百津町2件、白川町3件、東白川村0件、問合せ18件、不明・その他47件)</p>
効果	24時間365日フリーダイヤルで相談できるため、不要不急な救急を少しでも減らし、安定した医療体制を保持。 専門スタッフ(医師、看護師等)が常駐していることで、自己判断での初動を防ぐことや安心した相談窓口となっている。
評価分析	<p>活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因</p> <p>計画されていた各市町村による毎月の広報掲載に加え、一部の町村を除きホームページにて周知啓発を実施している。また、お盆や年末年始において別途ホームページやすくメール等で利用を促した。</p>
KPI分析 目標値の達成 ・未達成要因	令和4年と比較して若干減少したが、目標値を達成することはできた。 感染症の季節外れの流行等もあり、健康や体調不良に関する不安を解消したい住民心理に沿っていると思われる。 市町村による利用件数の偏りは変わらず見受けられる。より効果的な周知方法等を検討する必要がある。
実績からR06年度の事業の方向性	夜間・休日を含め24時間365日相談できる本事業は圏域住民へ安心感を与え、今後も相談件数は増加する傾向を踏まえると、R6年度以降も引き続き実施すべきと考えている。また、R6年度から名称を「みのかも健康ほっとダイヤル」から「健康ほっとダイヤル」に変更し、各市町村民が活用できるよう引き続きPRに努める。 「急救安心センター事業(#7119)」との比較については、#7119が救急車を呼ぶ必要があるか、夜間診療にかかるべきかを迷った際の連絡先であることに対し、「24時間電話相談」は健診や育児・介護等も含め医療的な相談を受けられるものであるため、重複するものではなく、両事業ともに実施していく。

インプット

アウトプット

アウトカム